

第2章

令和3年度(2021年度)

事業実績

第2章 令和3年度（2021年度）事業実績

1 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析、医師確保、育成のための対策の検討

(1) 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析

ア 医師

本報告書では、直近の「令和2年（2020年）医師・歯科医師・薬剤師統計」の結果（令和4年（2022年）3月17日公表）に、過去の分析結果^{*2-1}を加えて掲載した。

*2-1 「医師・歯科医師・薬剤師統計」は、平成28年（2016年）まで「医師・歯科医師・薬剤師調査」として結果が公表されている。

(7) 医師数（総数）および施設・業務の種別医師数（全県/実人数・人口10万対数/2010・2020年）

・総数および医療施設従事医師数とその変化（表2-1・2）

令和2年（2020年）12月31日時点の届出に基づく静岡県医師数（総数）は8,271人（47都道府県中多い順で11位；以下同じ）で、そのうち医療施設従事医師数（病院または診療所に従事する医師数）は7,972人（全国11位）であった。

これを10年前の平成22年（2010年）と比較すると、医師数（総数）で1,106人、医療施設従事医師数で1,089人、それぞれ増加した。平成22年（2010年）に対する令和2年（2020年）の比は、医師数（総数）で1.154、医療施設従事医師数で1.158と、いずれも全国を上回った。

人口10万人当たり（人口10万対医師数）で見ると、令和2年（2020年）の医師数（総数）は227.7人（全国40位）で、そのうち医療施設従事医師数は219.4人（全国40位）であった。

これを10年前の平成22年（2010年）と比較すると、医師数（総数）で37.4人、医療施設従事医師数で36.6人、それぞれ増加した。平成22年（2010年）に対する令和2年（2020年）の比は、医師数（総数）で1.197、医療施設従事医師数で1.200と、いずれも全国を上回った。

医師数に関する調査分析結果のまとめ（1）医師数（総数）

・令和2年（2020年）12月31日時点における静岡県医師数（総数）は8,271人（全国11位）で、うち医療施設従事医師数は7,972人（同11位）であった。また、人口10万対医師数（総数）は227.7人（同40位）で、うち医療施設従事医師数は219.4人（同40位）であった。

・10年前の平成22年（2010年）との比では、医師数（総数・医療施設従事医師数）・人口10万対医師数（同）とも、静岡県は全国を上回った。

・医療施設従事医師数とその変化（病院・診療所別）（表 2-1・2）

県内の医療施設従事医師数を病院・診療所別にみると、令和 2 年（2020 年）時点の医師数は、病院が 5,167 人（全国 11 位）、診療所が 2,805 人（全国 10 位）で、全国順位はほぼ同程度であった。平成 22 年（2010 年）との比では、病院が 1.210 で診療所が 1.074 と、病院の方が高かった。同じ比を全国と比較すると、病院は全国より高く、診療所は低かった。

人口 10 万対医師数では、令和 2 年（2020 年）時点の医師数は、病院が 142.2 人（全国 40 位）、診療所が 77.2 人（全国 29 位）で、全国順位は診療所の方が高かったが、いずれも全国を下回った。平成 22 年（2010 年）との比では、病院が 1.253 で診療所が 1.114 と、病院の方が高かった。同じ比を全国と比較すると、病院・診療所ともに全国を上回った。

病院のうち医育機関附属病院（医学部を有する大学の附属病院）に従事する人口 10 万対医師数は、令和 2 年（2020 年）で 22.1 人（全国 45 位）、平成 22 年（2010 年）との比では 1.464 と高かったが、県内の医育機関附属病院の増加^{*2-2}によるものであり、全国順位は最下位レベルであった。

*2-2 従前、本県では浜松医科大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属静岡病院の 2 病院が当該区分に該当したが、国際医療福祉大学の医学部設置に伴い、令和 2 年（2020 年）届出分から、同大学熱海病院の医師数が当該区分に計上されている。

医師数に関する調査分析結果のまとめ（2）医療施設従事医師数（病院・診療所別）

- ・医療施設従事医師数（病院・診療所別）では、人口 10 万対医師数は、病院が全国 40 位で診療所が全国 29 位と、両者に差があったが、いずれも全国を下回った。
- ・10 年前との比では、人口 10 万対医師数は、病院・診療所ともに全国を上回った。
- ・医育機関附属病院（大学病院）に従事する医師は、人口 10 万対医師数で全国最下位レベルであった。

・医療施設以外の施設・業務に従事する医師数とその変化（表 2-1・2）

県内の医療施設以外の施設・業務に従事する医師数のうち、介護老人保健施設に従事する医師は、人口 10 万対医師数が全国を上回り、平成 22 年（2010 年）との比も全国より高かった。また、平成 30 年度（2018 年度）に創設された介護医療院は、医師数が全国 2 位で人口 10 万対医師数が全国 6 位と、いずれも全国最上位レベルであった。

行政機関に従事する医師は、人口 10 万対医師数・平成 22 年（2010 年）との比とともに全国を下回り、人口 10 万対医師数は全国 46 位と、全国最下位レベルであった。

産業医は、人口 10 万対医師数は全国と同数であったが、平成 22 年（2010 年）との比は全国を大きく下回った。

医師数に関する調査分析結果のまとめ(3) 医療施設以外の施設・業務に従事する医師数

- ・医療施設以外の施設・業務に従事する医師数のうち、介護保健施設である介護老人保健施設と介護医療院に従事する医師は、いずれも人口10万対医師数が全国を上回り、特に平成30年度(2018年度)に創設された介護医療院は全国最上位レベルであった。
- ・行政機関に従事する医師の人口10万対医師数は、全国最下位レベルであった。
- ・産業医の人口10万対医師数は全国と同数であったが、平成22年(2010年)との比は全国を大きく下回った。

表2-1 医師数の変化(実人数/静岡県・全国/施設・業務の種別/2010・2020年)

	施設・業務の種別(抜粋)	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
静岡県	医師数(総数)	7,165 (11位)	8,271 (11位)	1,106	1.154	
	医療施設従事医師数(再掲)	6,883 (11位)	7,972 (11位)	1,089	1.158	
	病院		4,272 (11位)	5,167 (11位)	895	1.210
		医育機関附属病院	569 (17位)	804 (16位)	235	1.413
	診療所	2,611 (11位)	2,805 (10位)	194	1.074	
	介護老人保健施設	105 (10位)	118 (10位)	13	1.124	
	介護医療院(2018年度～)	— (—位)	26 (2位)	26	—	
	行政機関	21 (16位)	21 (15位)	0	1.000	
	産業医	37 (6位)	35 (6位)	▲2	0.946	
	無職	43 (15位)	31 (17位)	▲12	0.721	
全国	医師数(総数)	295,049	339,623	44,574	1.151	
	医療施設従事医師数(再掲)	280,431	323,700	43,269	1.154	
	病院		180,966	216,474	35,508	1.196
		医育機関附属病院	48,557	57,481	8,924	1.184
	診療所	99,465	107,226	7,761	1.078	
	介護老人保健施設	3,117	3,405	288	1.092	
	介護医療院(2018年度～)	—	298	298	—	
	行政機関	1,669	1,805	136	1.082	
	産業医	941	1,308	367	1.390	
	無職	2,086	1,998	▲88	0.958	

※ 静岡県のカッコ内は全国順位(降順)

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成



All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

表2-2 医師数の変化(人口10万対数/静岡県・全国/施設・業務の種別/2010・2020年)

	施設・業務の種別(抜粋)	2010年	2020年	差(B-A)	比(B/A)	
静岡県	医師数(総数)	190.3 (44位)	227.7 (40位)	37.4	1.197	
	医療施設従事医師数(再掲)	182.8 (40位)	219.4 (40位)	36.6	1.200	
	病院		113.5 (41位)	142.2 (40位)	28.7	1.253
		医育機関附属病院	15.1 (47位)	22.1 (45位)	7.0	1.464
	診療所	69.3 (33位)	77.2 (29位)	7.9	1.114	
	介護老人保健施設	2.8 (31位)	3.2 (27位)	0.4	1.143	
	介護医療院(2018年度～)	— (—位)	0.7 (6位)	0.7	—	
	行政機関	0.6 (46位)	0.6 (46位)	0.0	1.000	
	産業医	1.0 (3位)	1.0 (11位)	0.0	1.000	
	無職	1.1 (30位)	0.9 (36位)	▲0.2	0.818	
全国	医師数(総数)	230.4	269.2	38.8	1.168	
	医療施設従事医師数(再掲)	219.0	256.6	37.6	1.172	
	病院		141.3	171.6	30.3	1.214
		医育機関附属病院	37.9	45.6	7.7	1.203
	診療所	77.7	85.0	7.3	1.094	
	介護老人保健施設	2.4	2.7	0.3	1.125	
	介護医療院(2018年度～)	—	0.2	0.2	—	
	行政機関	1.3	1.4	0.1	1.077	
	産業医	0.7	1.0	0.3	1.429	
	無職	1.6	1.6	0.0	1.000	

※ 静岡県のカッコ内は全国順位(降順)

※ 端数処理上、数値が一致しない場合がある。

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成



All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

1 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析、医師確保、育成のための対策の検討

(1) 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析

ア 医師

(イ) 医療施設従事医師数（総数）の変化（実人数・人口10万対数/総数/指定都市・指定都市以外の市町別/2008-2020年・2010-2020年）（表2-3・4、図2-1・2）

県内の主たる従業先の医療施設の所在地を2つの指定都市（静岡市、浜松市）と指定都市以外の市町の3つの地域に分けた場合、令和2年（2020年）の医療施設従事医師数は指定都市以外の市町が最も多く、次いで浜松市、静岡市の順であった。また、令和2年（2020年）と10年前（平成22年（2010年））との医療施設従事医師数の差は、指定都市以外の市町が最も多く、次いで浜松市、静岡市の順であった。一方、10年前との比は浜松市が最も高く、次いで静岡市、指定都市以外の市町の順であった。（表2-3上）

これを人口10万対医療施設従事医師数で見ると、令和2年（2020年）の医師数では浜松市が最も多く、次いで静岡市、指定都市以外の市町であった。また、令和2年（2020年）と10年前との医療施設従事医師数の差は、浜松市が最も多く、次いで静岡市、指定都市以外の市町の順であった。一方、10年前との比は指定都市以外の市町が最も高く、次いで静岡市、浜松市の順であった。（表2-3下）

平成22年（2010年）を基準とした、直近10年間の届出年ごとの医療施設従事医師数の推移では、浜松市と指定都市以外の市町は概ね全県に沿って推移したが、浜松市では、新専門医制度が開始された平成30年（2018年）に全県を上回り、令和2年（2020年）も同様の傾向であった。一方、静岡市は、平成24年（2012年）・平成26年（2014年）で大きく全県を下回り、平成28年（2016年）以降は概ね全県に沿って推移した。（図2-1）

このように、基準とした届出年により経年的な変化を示す数値（基準年に対する比）に影響が生じたことから、平成20年（2008年）から令和2年（2020年）までの12年間に範囲を拡大し、より長期的な視点で同様の検討を行った。

令和2年（2020年）と12年前との医療施設従事医師数の差は、10年前と同様に、指定都市以外の市町が最も多く、次いで浜松市、静岡市の順であったが、12年前との比は、10年前と異なり、静岡市が最も高く、次いで浜松市、指定都市以外の市町の順であった。（表2-4上）

人口10万対医師数で見ると、令和2年（2020年）と12年前との医療施設従事医師数の差は、いずれも浜松市が最も多く、次いで静岡市、指定都市以外の市町の順であった。一方、令和2年（2020年）と12年前との比では静岡市が最も高く、次いで指定都市以外の市町、浜松市の順であった。（表2-4下）

平成20年（2008年）を基準とした、直近12年間の届出年ごとの医療施設従事医師数の推移では、浜松市と指定都市以外の市町は、直近10年間と同様に、概ね全県に沿って推移していた。一方、静岡市は、平成22年（2010年）に一旦全県を

大きく上回った（医師数の増加率が高かった）が、平成 24 年（2012 年）・平成 26 年（2014 年）・平成 26 年（2014 年）で全県並みに戻り、平成 28 年（2016 年）以降は全県を上回る水準を維持していた。新専門医制度が開始された平成 30 年（2018 年）以降に限ると、2 つの指定都市と指定都市以外の市町では、いずれも比の傾きはほぼ平行（増加率は同程度）であったが、比の高さ（増加率）は静岡市、浜松市、指定都市以外の市町の順であった。（図 2-2）

このように、単回の調査（届出）による医師数の多寡や、複数回の調査（届出）の期間内における医師数の変化を地域別に比較検討する場合は、一部の地域で届出年による変動がないかを確認し、適切な評価を行うとともに、必要に応じて適正な調査（届出）結果が得られるよう対策を講じる必要がある。このことについては、当講座の平成 30 年度実績報告書で報告している^{*2-3}が、直近の届出状況を含めた検討を進めている（検討結果の一部は今回の報告書で記載）。

医師数に関する調査分析結果のまとめ（４）医療施設従事医師-指定都市等別医師数

- ・ 県内の 2 つの指定都市（静岡市、浜松市）と指定都市以外の市町の 3 つの地域の比較では、人口 10 万対医療施設従事医師数は 2 つの指定都市で多く、指定都市以外の市町で少ない。
- ・ 一定期間内における医師数の変化を評価する場合、届出年による変動の有無に留意する必要がある。今回の検討では、平成 28 年（2016 年）まで、静岡市での届出年による医師数の変動が比較的大きく、同一届出年における地域間や、全県を含む経年変化の評価に影響する可能性が考えられた。そのため、直近の 10 年間である平成 22 年（2010 年）から令和 2 年（2020 年）までに加えて、平成 20 年（2008 年）から令和 2 年（2020 年）までの 12 年間についても検討を行った。
- ・ 直近 10 年・12 年間における医療施設従事医師数の変化（基準とした届出年に対する令和 2 年（2020 年）の比）は、医師数が最も多い浜松市で最も小さかった。
- ・ 直近 10 年・12 年間における医療施設従事医師数の変化から、平成 30 年度（2018 年度）に開始された新専門医制度が、県内の医師の分布に影響を与えている可能性が考えられた。

*2-3 浜松医科大学地域医療支援学講座 平成 30 年度（2018 年度）実績報告書, P. 129-134. 2019.

表2-3 医療施設従事医師数の変化(実人数・人口10万対数/全国・静岡県・指定都市等(再掲)/2010~2020年)

医療施設従事医師数	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)
全国	280,431	323,700	43,269	1.154
静岡県	6,883	7,972	1,089	1.158
静岡市(再掲)	1,514	1,751	237	1.157
浜松市(再掲)	1,908	2,238	330	1.173
指定都市以外の市町(再掲)	3,461	3,983	522	1.151

人口10万人当たり医療施設従事医師数

	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)
全国	219.0	256.6	37.6	1.172
静岡県	182.8	219.4	36.6	1.200
静岡市(再掲)	211.4	252.5	41.1	1.195
浜松市(再掲)	238.2	283.0	44.8	1.188
指定都市以外の市町(再掲)	154.0	185.3	31.4	1.204

図2-1 医療施設従事医師数の推移(実人数/全国・静岡県・指定都市等(再掲)/2010~2020年)

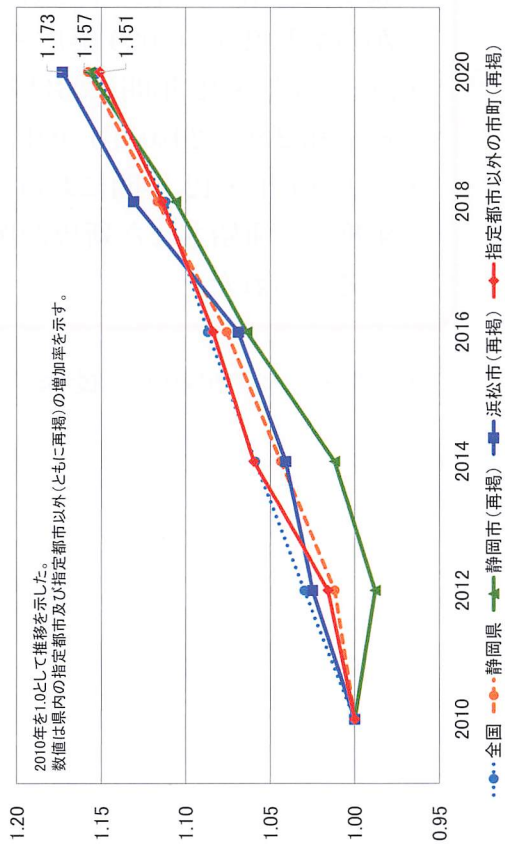


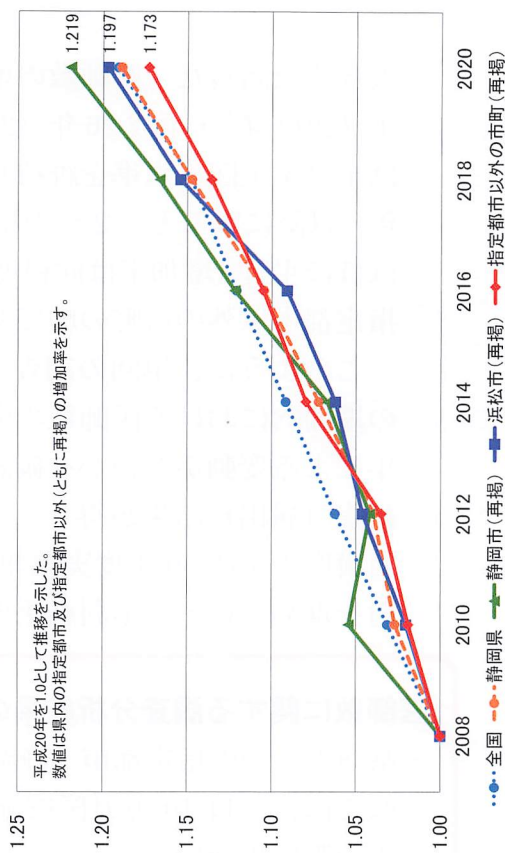
表2-4 医療施設従事医師数の変化(実人数・人口10万対数/全国・静岡県・指定都市等(再掲)/2008~2020年)

医療施設従事医師数	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)
全国	271,897	323,700	51,803	1.191
静岡県	6,702	7,972	1,270	1.189
静岡市(再掲)	1,436	1,751	315	1.219
浜松市(再掲)	1,870	2,238	368	1.197
指定都市以外の市町(再掲)	3,396	3,983	587	1.173

人口10万人当たり医療施設従事医師数

	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)
全国	212.9	256.6	43.7	1.205
静岡県	176.4	219.4	43.1	1.244
静岡市(再掲)	199.8	252.5	52.7	1.264
浜松市(再掲)	230.0	283.0	53.1	1.231
指定都市以外の市町(再掲)	149.8	185.3	35.5	1.237

図2-2 医療施設従事医師数の推移(実人数(2008年比)/全国・静岡県・指定都市等(再掲)/2008~2020年)



1 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析、医師確保、育成のための対策の検討

(1) 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析

ア 医師

(ウ) 医療施設従事医師・病院-診療所別の主たる診療科別医師数と構成割合(実人数・構成割合/総数・病院-診療所別/主たる診療科別/全県/2020年)(表2-5、図2-3~5)

本県における令和2年(2020年)時点の主たる診療科別医師数(総数)は、多い方(300人以上)から順に、①内科(12科)、②臨床研修医、③外科(8科)、④整形外科、⑤小児科、⑥産婦人科(3科)、⑦精神科、⑧眼科であった。主たる診療科の構成割合を全国と比較すると、全体として大きな違いはないが、本県は外科・臨床研修医が高く、内科・精神科で低い傾向がみられた。

また、病院・診療所別では、病院は、多い方(200人以上)から順に、①内科(12科)、②外科(8科)、③臨床研修医、④整形外科、⑤小児科、精神科、⑦麻酔科、⑧産婦人科(3科)で、診療所は、多い方(200人以上)から順に、①内科(12科)、②眼科、③整形外科の順となり、内科と整形外科は病院・診療所ともに主たる診療科として標榜する医師が多いが、他の診療科は病院と診療所で医師数の多寡に差があった。

主たる診療科別構成割合では、医師数が最も多い内科(12科)が総数の約35%を占めたが、病院の約29%に対し、診療所では約46%と高く、大きな違いがあった。病院よりも診療所の構成割合が高い傾向は、皮膚科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科でみられた。一方、外科(8科)では、総数約9%・病院約12%・診療所約4%と病院での構成割合が高く、同様の傾向は、麻酔科や他の外科系の診療科に多くみられた。

これを2つの指定都市とそれ以外の市町で比較すると、総数では、静岡市で小児科・臨床研修医の構成割合が高い一方、整形外科の構成割合が低い、浜松市で産婦人科が高く、内科・外科が低い、指定都市以外の市町で整形外科が高い一方、小児科・産婦人科が低い、などの傾向がみられた。

また、病院・診療所別では、病院の場合、静岡市で臨床研修医の構成割合が高い一方、整形外科の構成割合が低い、浜松市で小児科・産婦人科が高く、内科・外科・臨床研修医で低い、指定都市以外の市町で外科・整形外科で高く、小児科・産婦人科で低い、診療所の場合、静岡市で産婦人科が高く、眼科で低い、浜松市で内科が高く、小児科・耳鼻咽喉科で低い、指定都市以外の市町で整形外科が高く、内科・外科で低い、などの傾向がみられた。

これらの違いは、それぞれの地域における診療科ごとの医療提供体制(病院・診療所の役割分担と連携の状況等)による影響が考えられた。

医師数に関する調査分析結果のまとめ（５）医療施設従事医師-主たる診療科別医師数

- ・主たる診療科別医師数（総数）は、多い方（300人以上）から順に、①内科（12科）、②臨床研修医、③外科（8科）、④整形外科、⑤小児科、⑥産婦人科（3科）、⑦精神科、⑧眼科であった。構成割合を全国と比較すると、全体として大きな違いはないが、本県は外科・臨床研修医が高く、内科・精神科で低い傾向がみられた。
- ・病院・診療所別では、内科と整形外科は病院・診療所ともに主たる診療科として標榜する医師が多いが、他の診療科は病院と診療所で医師数の多寡に差があった。
- ・2つの指定都市と指定都市以外の市町との比較では、診療科別構成割合にそれぞれ違いがあったが、それぞれの地域における診療科ごとの医療提供体制（病院・診療所の役割分担と連携の状況等）による影響が考えられた

1 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析、医師確保、育成のための対策の検討

(1) 地域及び診療科ごとの必要医師数等の調査分析

ア 医師

(イ) 医療施設従事医師数の変化（実人数・人口10万対数/主たる診療科別/全県・指定都市・指定都市以外の市町別/2008-2020年・2010-2020）

本県では、2つの指定都市を含む二次医療圏（静岡医療圏、西部医療圏）が医師偏在指標における「医師多数区域」であり、これらに位置する病院から他の二次医療圏（医師偏在指標における「医師少数区域」または中位区域）に多数の医師が派遣されていること、また、新専門医制度における専門研修プログラムの基幹施設が2つの指定都市に数多く位置することなどから、県内の2つの指定都市と指定都市以外の市町について、主たる診療科別医師数^{*2-4}について比較し、検討を行った。

今回は、直近の令和2年（2020年）時点の医師数（実人数・人口10万対人数）と、一定の期間内における増減について検討したが、後者については、届出年による医師数の変動を考慮して、平成20年（2008年）から令和2年（2020年）までの12年間と、平成22年（2010年）から令和2年（2020年）までの10年間の2つのパターンを作成して検討した。

なお、当講座の令和元年度実績報告書では、平成20年（2008年）から平成30年（2018年）までの10年間について検討した結果を報告している^{*2-5}ので、必要に応じて参照していただきたい。

*2-4 主たる診療科の掲載順は厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」に準じたが、新専門医制度における基本領域（総合診療を除く）の診療科を優先し、「美容外科」については参考として診療科別の最後に掲載した。また、厚生労働省の診療科別医師数の分類^{*2-4 補}に従い、内科は届出票の「内科」、「呼吸器内科」、「循環器内科」、「消化器内科（胃腸内科）」、「腎臓内科」、「脳神経内科」（平成30年（2018年）までは「神経内科」）、「糖尿病内科（代謝内科）」、「血液内科」、「アレルギー科」、「リウマチ科」、「感染症内科」、「心療内科」の12科を合計し、外科は届出票の「外科」、「呼吸器外科」、「心臓血管外科」、「乳腺外科」、「気管食道外科」、「消化器外科（胃腸外科）」、「肛門外科」、「小児外科」の8科を合計した。

*2-4 補 厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会 第28回 医師需給分科会」（平成31年2月18日開催）資料3. <https://www.mhlw.go.jp/content/10801000/000480275.pdf>（令和4年3月28日確認）

*2-5 浜松医科大学地域医療支援学講座 令和元年度（2019年度）実績報告書. P.124-127. 2020.

注）この報告書では、内科に「アレルギー科」、「リウマチ科」、「心療内科」を含めていない。

○全県、指定都市・指定都市以外の市町別医師数の変化

・静岡県（総括：表2-6、図2-6～10、詳細：表2-7・11～14）

厚生労働省が算出した医師偏在指標で47都道府県の下位1/3に位置づけられた「医師少数県」である本県では、基本的に医師の絶対数が不足している。

直近の令和2年（2020年）時点の人口10万対医師数、医師数（実人数・人口10万

対数)における直近10年間・12年間の比(増加率)は、主たる診療科の多くで全国を下回った。

人口10万対医師数では、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科の3診療科と臨床研修医以外のすべての診療科(参考に示した美容外科を除く;以下同じ)で全国比が1を下回り、そのうち、内科、皮膚科、小児科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科の7診療科で全国比が0.850(全国の85.0%)を下回り、特に医師数が少ない診療科と考えられた。また、内科は医師数が医療施設従事医師数全体の1/3を占め(8,271人中2,767人;33.5%)、地域医療の基盤となっている。県内の内科医師数の全国比が約8割にとどまることは、本県における地域の医療提供体制全体に大きな影響を与えていると考えられた。

直近10年間・12年間の医師数の比では、皮膚科、整形外科、臨床検査科以外のすべての診療科でいずれかが全国を下回った。そのため、リハビリテーション科や病理診断科のように直近の医師数が全国比を上回っている診療科においても、今後の医師数の動向が懸念された。また、人口10万対医師数が全国を上回り、10年間・12年間の医師数の比が高い臨床検査科についても、地域間の偏在があることから、今後も医師の確保を図っていく必要があると考えられた。

さらに、10年間・12年間の推移では、多くの診療科で直近10年間・12年間の医師数の比が概ね1.0~1.5の範囲に収まった。中でも、臨床研修医が1.5前後と医師数が大きく伸びたのに対して、臨床研修の必修科目・分野である内科、小児科、精神科、外科、産婦人科、救急科の6診療科では、救急科を除きいずれも1.2を下回り、ほとんど医師数が増加していなかった。

以上のことから、静岡県全体では、直近の人口10万対医師数の全国比が低い7診療科(内科、皮膚科、小児科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科)に、それ以外で臨床研修の必修科目である外科、産婦人科を加えた9診療科を重点的に、引き続き、すべての診療科で医師の確保を図っていく必要があると考えられた。

併せて、臨床研修医の増加が県内医師数、特に地域医療の基盤となる診療科(臨床研修の必修科目・分野)の医師数の増加(臨床研修修了医師の県内への定着)につながっているかについても、検証していく必要があると考えられた。

・静岡市(総括:表2-6、図2-6、詳細:表2-8・15~18)

全県との比較では、直近の人口10万対医師数は4診療科(泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科)で全県を下回り、そのうち、放射線科で全県比が0.850を下回り、特に医師数が少ない診療科と考えられた。また、直近10年間・12年間の医師数の比では、多くの診療科で全県を下回った。両者を併せて検討した場合、形成外科、耳鼻咽喉科、救急科では、人口10万対医師数は全県を上回ったが、10年間・12年間の医師数の比は全県を下回った。

全国との比較では、直近の人口10万対医師数は新専門医制度における基本領域(総合診療を除く18領域・診療科)の半数以上(10診療科)で全国比が1を下回り、そ

のうち、放射線科と救急科で全国比が 0.850 を下回った。

また、静岡市には、静岡県立総合病院をはじめ、市内（二次医療圏内）はもとより、全県の中核となる大規模病院が複数ある。これらの病院は、新専門医制度における専門研修プログラムの基幹施設として数多くの専攻医を県内の連携施設に派遣しているほか、指導医等を県内の地域医療の核となる病院に派遣し、診療を支援している。

医師の働き方改革の推進に伴い、自院以外の病院等に派遣され診療支援を行っている医師は、複数の病院での労働時間が合算されるため、令和6年（2024年）4月から開始される時間外労働上限規制の適用により大きな影響を受ける。医師を派遣する病院は、同規制の適用後も静岡市内の病院から県内の病院への診療支援を継続できるよう、それまでに十分な医師数を確保しておく必要がある。

以上のことから、静岡市では、個々の病院の地域や県内における機能（特に医師派遣・診療支援機能）や、地域における医療機能の分担と連携を明確にした上で、現在の医師数を維持しつつ、人口10万対医師数の全国比が低い10診療科（中でも、全国比が特に低い放射線科、救急科の2診療科）を重点的に、その他の診療科についても幅広く医師の確保を図る必要があると考えられた。

なお、静岡市における小児科の医師数は、届出年ごとの変動が大きいいため十分な評価が困難で、静岡県と全国との比較にも影響が波及していることが考えられた。（詳細は「主たる診療科別の推移等 小児科」の項を参照）

・浜松市（総括：表 2-6、図 2-6、詳細：表 2-9・19～22）

全県との比較では、直近の人口10万対医師数は脳神経外科以外のすべての診療科で全県を上回った。また、直近10年間・12年間の医師数の比では、人口10万対医師数の全県比に関係なく、多くの診療科で全県を下回った。両者を併せて検討した場合、耳鼻咽喉科では、直近の人口10万対医師数は全県を上回ったが、10年間・12年間のいずれの期間でも医師数が減少していた。

全国との比較では、直近の人口10万対医師数は内科、精神科、脳神経外科、耳鼻咽喉科の4診療科で全国比が1を下回った。

浜松市には、県内で唯一の大学病院本院で、新専門医制度における全基本領域（総合診療を含む19領域・診療科）の基幹施設でもある浜松医科大学医学部附属病院をはじめ、市内はもとより、全県の中核となる大規模病院が複数ある。静岡市と同様に、これらの病院は、数多くの専攻医を県内の連携施設に派遣しているほか、指導医等を県内の地域医療の核となる病院に派遣し、診療を支援している。そのため、医師の時間外労働上限規制の適用を見据えて、これらの病院では十分な医師数を確保しておくことが求められる。

このほか、浜松医科大学は県内唯一の医学部として、臨床系の各講座から地域医療の核となる県内の関連病院に多数の常勤医師を派遣し、県内の地域医療を支えている。今後は、女性医師の比率がさらに高まり、ライフイベントに応じた弾力的な雇用形態が望まれることから、各病院の必要医師数が増加することが見込まれる。そのため、

大学には、これまで以上に安定して医師を派遣することが望まれている。

以上のことから、浜松市では、個々の病院の地域や県内における機能（特に医師派遣・診療支援機能）や、地域における医療機能の分担と連携を明確にした上で、現在の医師数を維持しつつ、人口 10 万対医師数の全国比が低い 4 診療科（中でも、全県比が低い脳神経外科）を重点的に、その他の診療科についても幅広く医師の確保を図る必要があると考えられた。

・指定都市以外の市町（総括：表 2-6、図 2-6、詳細：表 2-10・23～26）

全県との比較では、直近の人口 10 万対医師数は脳神経外科以外のすべての診療科と臨床研修医で全県比が 1 を下回り、そのうち、9 診療科（小児科、精神科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科）と臨床研修医で全県比が 0.850 を下回り、特に医師数が少ない診療科と考えられた。また、直近 10 年間・12 年間の医師数の比では、12 診療科で全県を下回り、10 年間で 3 診療科（小児科、外科、泌尿器科）の医師数が減少していた。

全国との比較では、唯一全国比を上回った脳神経外科以外のすべての診療科で全国比が 0.850 を下回り、そのうち、8 診療科（内科、皮膚科、小児科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科）では全国比が 0.700 を下回り、特に医師数が少ない診療科と考えられた。また、内科は医師数が医療施設従事医師数全体の 1/3 強を占め（3,983 人中 1,400 人；35.1%）、地域医療の基盤となっている。指定都市以外の市町における内科医師数の全国比が約 7 割を切る現状は、医療資源の少ない地域の医療提供体制全体に大きな影響を与えていると考えられた。

指定都市以外の市町には、医師偏在指標における「医師少数区域」が含まれる。本県では、賀茂医療圏（1 市 5 町）、富士医療圏（2 市）、中東遠医療圏（5 市 1 町）の 3 医療圏が該当するが、それ以外の二次医療圏も医師の絶対数が少なく、圏域内における医師の偏在等の課題を抱えている。

一方、指定都市以外の市町では、地理的に中山間地域に位置していたり、病院が中小規模で、開設主体も多様であるなど、医療資源を必ずしも効率的に配置できない場合が少なくない。この場合、例えば、高度専門医療や高度救急医療を担う外科、脳神経外科や救急科、ハイリスク分娩・新生児を取り扱う産婦人科や小児科、専門医が限られる放射線科、病理診断科や臨床検査科などは、ドクターヘリなどによる広域搬送を活用しつつ、病院間の広域連携の下で医療資源を集中させ、同時に画像診断等における ICT を利活用することにより、提供される医療の質の向上も期待できる。

また、指定都市以外の市町で構成された二次医療圏で最も規模が大きい駿東田方医療圏には順天堂大学医学部附属病院があり、東部地域を中心に、県内の数多くの病院へ医師を派遣し、診療支援を行っている。また、当該病院を基幹施設とする専門研修プログラムも増えつつあり、今後は、県内の連携施設への専攻医の派遣も期待される。このほか、各医療圏に様々な専門研修プログラムの基幹施設があり、今後は、静岡県医学修学研修資金の貸与を受けた医師や地域枠医師の増加に伴い、専攻医の増加が

期待される。

以上のことから、指定都市以外の市町では、地理的な特性等を踏まえつつ、個々の病院の地域や県内における機能（特に医師派遣・診療支援機能）や、地域における医療機能の分担と連携等による医療資源の効率的な活用を推進した上で、地域医療の基盤となる内科と、直近の人口 10 万対医師数の全県比が低い 9 診療科（小児科、精神科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科）を重点的に、すべての診療科で医師の確保を図る必要があると考えられた。

医師数に関する調査分析結果のまとめ（6）全県・指定都市等-主たる診療科別医師数

- ・ 医師偏在指標で「医師少数県」に位置づけられた静岡県では、医師の絶対数を増やす必要がある。地域における医療機能の分担・連携の推進を前提として、以下の医師を確保する必要があると考えられた。
- ・ 静岡県：全診療科（特に、医師数の全国比が 0.850 未満の 7 診療科と、それ以外で臨床研修の必修科目の 2 診療科を加えた 9 診療科。）
- ・ 静岡市：医師数の全国比が 1.000 未満の 10 診療科（他は医師派遣機能等を考慮）
- ・ 浜松市：医師数の全国比が 1.000 未満の 4 診療科（同上）
- ・ 指定都市以外の市町：全診療科、特に内科と医師数の全県比が 0.850 未満の 9 診療科

表2-6 医療施設従事医師数の比較(人口10万対数/主たる診療科別/静岡県・指定都市等(再掲)/2020年)

主たる診療科	静岡県(全県)	静岡市*		浜松市		指定都市以外の市町	
	全国比	全県比	全国比	全県比	全国比	全県比	全国比
内科(12科)	0.802	1.174	0.942	1.240	0.995	0.855	0.686
皮膚科	0.802	1.126	0.903	1.290	1.035	0.853	0.684
小児科	0.822	1.343	1.104	1.245	1.024	0.800	0.658
精神科	0.735	1.216	0.894	1.343	0.987	0.804	0.591
外科(8科)	0.921	1.146	1.055	1.234	1.136	0.867	0.798
泌尿器科	0.940	0.907	0.852	1.436	1.349	0.870	0.817
脳神経外科	0.987	0.903	0.891	0.989	0.977	1.035	1.022
整形外科	0.900	1.032	0.929	1.227	1.105	0.906	0.816
形成外科	0.983	1.110	1.090	1.676	1.647	0.716	0.704
眼科	0.858	1.026	0.880	1.295	1.111	0.883	0.757
耳鼻咽喉科	0.865	1.272	1.099	1.096	0.947	0.877	0.758
産婦人科(3科)	0.942	1.195	1.125	1.386	1.306	0.786	0.740
リハビリテーション科	1.005	0.998	1.003	1.915	1.923	0.664	0.667
放射線科	0.747	0.822	0.614	1.532	1.144	0.862	0.644
麻酔科	0.791	1.142	0.903	1.571	1.242	0.744	0.588
病理診断科	1.032	1.248	1.287	1.459	1.505	0.751	0.775
臨床検査科	1.100	1.310	1.442	1.608	1.770	0.676	0.744
救急科	0.686	1.142	0.783	1.826	1.252	0.650	0.446
美容外科(参考)	0.663	2.038	1.352	1.276	0.847	0.564	0.374
臨床研修医	1.013	1.364	1.381	1.230	1.246	0.798	0.808

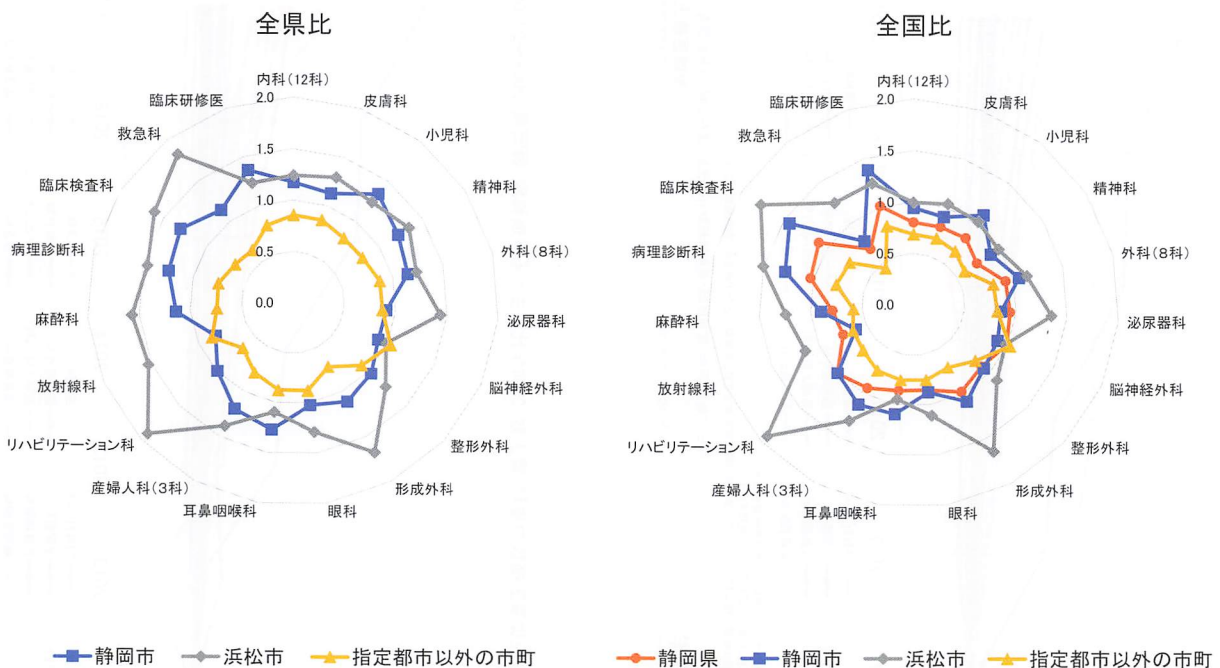
※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 * 静岡市では、小児科の医師数は届出年ごとの変動が大きいことに留意。
 * 網掛け部分は人口10万対医師数(全国・全県)を下回った診療科
 厚生労働省「令和2年(2020年) 医師・歯科医師・薬剤師統計」を基に作成



All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

図2-6 医療施設従事医師数の比較(人口10万対数/主たる診療科別/静岡県・指定都市等(再掲)/2020年)



※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 * 静岡市では、小児科の医師数は届出年ごとの変動が大きいことに留意。
 厚生労働省「令和2年(2020年) 医師・歯科医師・薬剤師統計」を基に作成



All rights reserved.

地域医療支援学講座
Dept. of Regional Medical Care Support

図2-7 医療施設従事医師数の推移(実人数(2010年比)/主たる診療科別/静岡県/2010~2020年)

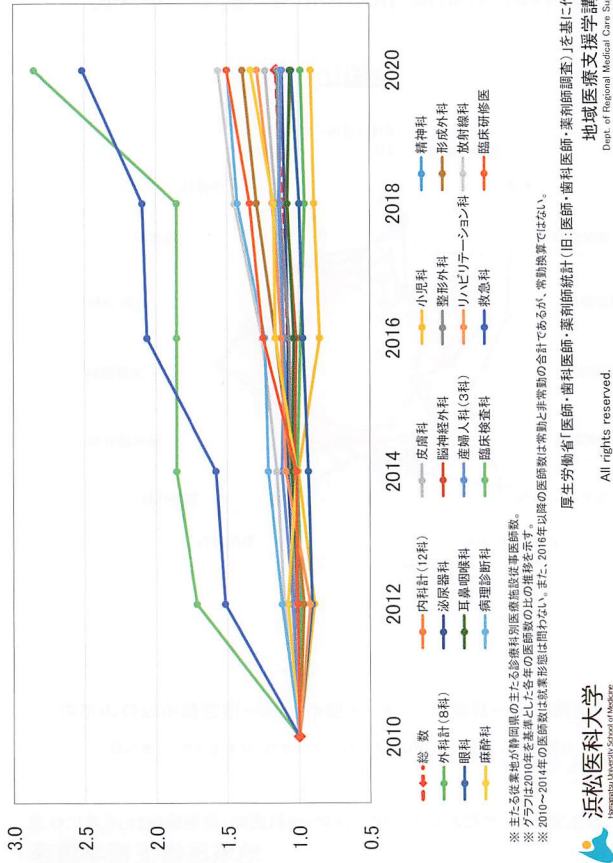


図2-8 医療施設従事医師数の推移(実人数(2008年比)/主たる診療科別/静岡県/2008~2020年)

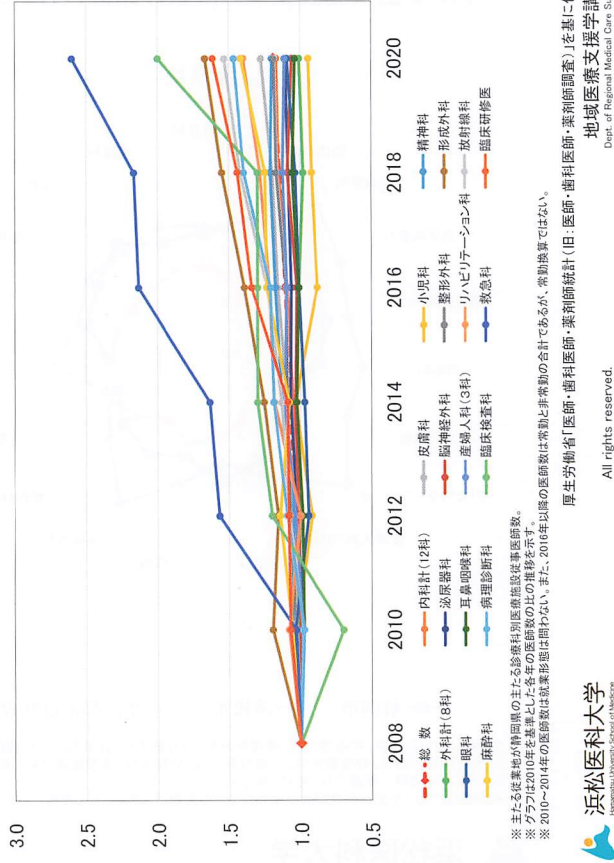


図2-9 医療施設従事医師数の推移(実人数(2010年比)/主たる診療科別(抜粋)/静岡県/2010~2020年)

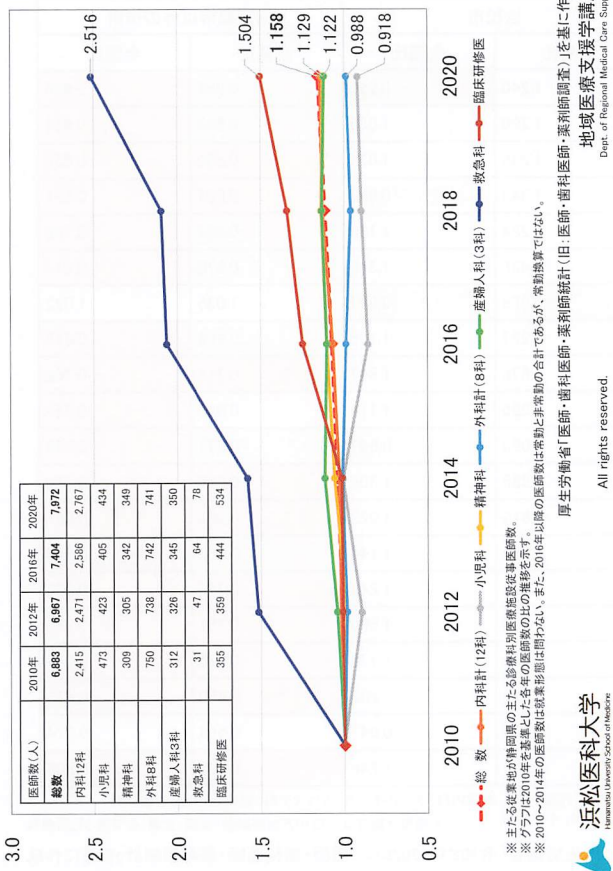


図2-10 医療施設従事医師数の推移(実人数(2008年比)/主たる診療科別(抜粋)/静岡県/2008~2020年)

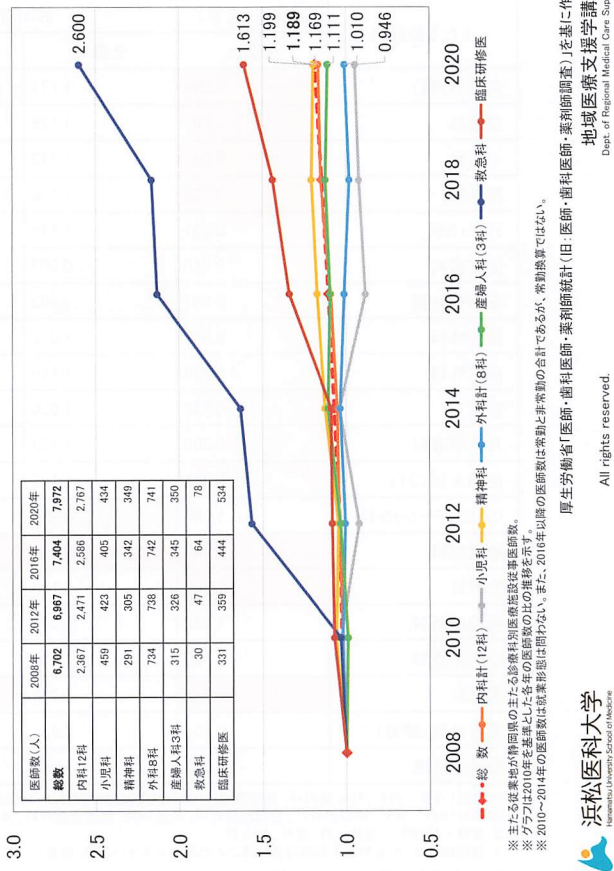


表2-7 医療施設従事医師数の変化(実人数・人口10万対数/2008-2020・2010-2020)

主たる診療科	医師数(実人数)		医師数(人口10万対数)	
	人数(2020年)	比(2020年/2008年)	人数(2020年)	比(2020年/2008年)
内科(12科)	2,767	1.169	1,146	0.802
皮膚科	228	1.274	1,232	1.332
小児科	434	0.946	1,112	1.070
精神科	349	1.129	1,254	1.170
外科(8科)	741	1.010	1,086	1.024
泌尿器科	208	1.106	1,157	1.159
脳神経外科	209	1.061	1,110	1.084
整形外科	584	1.185	1,239	1.191
形成外科	85	1.053	1,743	1.444
眼科	337	1.039	1,144	1.091
耳鼻咽喉科	239	1.062	1,087	1.101
産婦人科(3科)	350	1.111	1,316	1.276
リハビリテーション科	84	1.400	1,464	1.339
放射線科	153	1.530	1,600	1.618
麻酔科	234	1.418	1,483	1.386
病理診断科	63	1.465	1,532	1.584
臨床検査科	20	2.000	2,092	2.961
救急科	78	2.000	2,719	2.607
美容外科(参考)	18	1.800	1,883	2,073
臨床研修医	534	1.613	1,013	1,687

※ 内科(12科): 呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、脳神経内科(神経内科)、血液内科、リウマチ科、膠原病内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、乳腺外科、皮膚科、泌尿器外科、整形外科、小児科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧・医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

表2-9 医療施設従事医師数の変化(実人数・人口10万対数/2008-2020・2010-2020)

主たる診療科	医師数(実人数)		医師数(人口10万対数)	
	人数(2020年)	比(2020年/2008年)	人数(2020年)	比(2020年/2008年)
内科(12科)	747	1.203	1,117	1.237
皮膚科	64	1.362	1,280	1.400
小児科	125	1.147	1,226	1.318
精神科	102	1.097	1,074	1,128
外科(8科)	139	0.971	1,015	0.988
泌尿器科	65	1.444	1,477	1,485
脳神経外科	45	1.047	1,184	1,076
整形外科	156	1.311	1,268	1,348
形成外科	31	2.214	1,550	2,277
眼科	95	1.145	1,118	1,177
耳鼻咽喉科	57	0.905	0.966	0.950
産婦人科(3科)	109	1.058	1,112	1,211
リハビリテーション科	35	1.591	1,667	1,636
放射線科	51	1.594	1,594	1,639
麻酔科	80	1.231	1,231	1,247
病理診断科	20	1.333	1,429	1,371
臨床検査科	7	2.333	1,400	2,400
救急科	31	1.824	1,824	1,875
美容外科(参考)	5	2.500	1,667	0.616
臨床研修医	143	1.222	1,388	1,230

※ 内科(12科): 呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、脳神経内科(神経内科)、血液内科、リウマチ科、膠原病内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、乳腺外科、皮膚科、泌尿器外科、整形外科、小児科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧・医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

表2-8 医療施設従事医師数の変化(実人数・人口10万対数/2008-2020・2010-2020)

主たる診療科	医師数(実人数)		医師数(人口10万対数)	
	人数(2020年)	比(2020年/2008年)	人数(2020年)	比(2020年/2008年)
内科(12科)	620	1.258	894	1,304
皮膚科	49	1.324	1,126	1,332
小児科*	104	0.680	1,343	0.812
精神科	81	1.306	1,216	1,307
外科(6科)	162	1.045	1,146	1,083
泌尿器科	36	1.059	1,091	1,088
脳神経外科	36	1.241	1,000	1,287
整形外科	115	1.186	1,211	1,229
形成外科	66	1.179	1,048	1,222
眼科	58	1.036	1,018	1,074
耳鼻咽喉科	81	1.227	633	1,479
産婦人科(3科)	16	1.455	0.941	2.3
放射線科	24	1.714	1,500	1,777
麻酔科	51	1.457	1,342	1,510
病理診断科	15	1.667	1,364	1,728
臨床検査科	5	1.667	5,000	0.7
救急科	17	2.125	2,125	2,203
美容外科(参考)	7	1.167	1,750	1,209
臨床研修医	139	1.716	1,168	1,779

※ 内科(12科): 呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、脳神経内科(神経内科)、血液内科、リウマチ科、膠原病内科、心療内科
 ※ 外科(6科): 呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、乳腺外科、皮膚科、泌尿器外科
 ※ 精神科は小児科の医師数は前年までの数値が欠いていることに留意。

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧・医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

表2-11 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/静岡県/2008・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全国 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	2,367	2,767	400	1.169	1.170
皮膚科	179	228	49	1.274	1.201
小児科	459	434	▲25	0.946	1.181
精神科	291	349	58	1.199	1.218
外科(8科)	734	741	7	1.010	1.015
泌尿器科	188	208	20	1.106	1.215
脳神経外科	197	209	12	1.061	1.149
整形外科	493	584	91	1.185	1.168
形成外科	51	85	34	1.667	1.424
眼科	308	337	29	1.094	1.080
耳鼻咽喉科	230	239	9	1.039	1.074
産婦人科(3科)	315	350	35	1.111	1.143
リハビリテーション科	60	84	24	1.400	1.515
放射線科	100	153	53	1.530	1.371
麻酔科	165	234	69	1.418	1.454
病理診断科	43	63	20	1.465	1.543
臨床検査科	10	20	10	2.000	1.622
救急科	30	78	48	2.600	2.031
美容外科(参考)	10	18	8	1.800	2.292
臨床研修医	331	534	203	1.613	1.259

※内科(12科):内科,呼吸器内科,循環器内科,腫瘍内科(代謝内科),血液内科,アレルギー科,リウマチ科,感染症内科,心臓内科
 ※外科(8科):外科,呼吸器外科,心臓血管外科,乳腺外科,消化器外科(胃腸外科),肛門外科,小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科,産科,婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



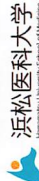
All rights reserved.

表2-13 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/静岡県/2010・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全国 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)*	
内科(12科)	2,415	2,767	352	1.146	1.140
皮膚科	185	228	43	1.232	1.165
小児科	473	434	▲39	0.918	1.134
精神科	309	349	40	1.129	1.161
外科(8科)	750	741	▲9	0.988	1.005
泌尿器科	186	208	22	1.118	1.180
脳神経外科	198	209	11	1.056	1.088
整形外科	508	584	76	1.150	1.127
形成外科	61	85	24	1.393	1.407
眼科	320	337	17	1.053	1.066
耳鼻咽喉科	225	239	14	1.062	1.063
産婦人科(3科)	312	350	38	1.122	1.105
リハビリテーション科	65	84	19	1.292	1.521
放射線科	98	153	55	1.561	1.271
麻酔科	175	234	59	1.337	1.331
病理診断科	42	63	21	1.500	1.399
臨床検査科	7	20	13	2.857	1.315
救急科	31	78	47	2.516	1.742
美容外科(参考)	9	18	9	2.000	2.206
臨床研修医	355	534	179	1.504	1.258

※内科(12科):内科,呼吸器内科,循環器内科,腫瘍内科(代謝内科),血液内科,アレルギー科,リウマチ科,感染症内科,心臓内科
 ※外科(8科):外科,呼吸器外科,心臓血管外科,乳腺外科,消化器外科(胃腸外科),肛門外科,小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科,産科,婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



All rights reserved.

表2-12 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/静岡県/2008・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全国 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	623	762	139	1.223	1.184
皮膚科	47	63	16	1.332	1.216
小児科	890	889	00	1.112	1.357
精神科	77	96	19	1.254	1.233
外科(8科)	193	204	11	1.056	1.028
泌尿器科	49	57	8	1.157	1.230
脳神経外科	52	58	6	1.110	1.163
整形外科	130	161	31	1.239	1.183
形成外科	13	24	11	1.743	1.441
眼科	81	93	12	1.144	1.093
耳鼻咽喉科	61	66	5	1.087	1.087
産婦人科(3科)	403	530	127	1.316	1.290
リハビリテーション科	16	23	7	1.464	1.534
放射線科	26	42	16	1.600	1.388
麻酔科	43	64	21	1.483	1.472
病理診断科	11	17	6	1.532	1.562
臨床検査科	0.3	0.6	0.3	2.092	1.642
救急科	0.8	2.1	1.4	2.719	2.056
美容外科(参考)	0.3	0.5	0.2	1.883	2.320
臨床研修医	87	147	60	1.687	1.274

※内科(12科):内科,呼吸器内科,循環器内科,腫瘍内科(代謝内科),血液内科,アレルギー科,リウマチ科,感染症内科,心臓内科
 ※外科(8科):外科,呼吸器外科,心臓血管外科,乳腺外科,消化器外科(胃腸外科),肛門外科,小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科,産科,婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



All rights reserved.

表2-14 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/静岡県/2010・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全国 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)*	
内科(12科)	641	762	121	1.187	1.157
皮膚科	49	63	14	1.277	1.183
小児科	925	889	00	1.070	1.274
精神科	82	96	14	1.170	1.179
外科(8科)	199	204	5	1.024	1.020
泌尿器科	49	57	8	1.159	1.198
脳神経外科	53	58	5	1.094	1.114
整形外科	135	161	26	1.191	1.144
形成外科	16	23	7	1.444	1.428
眼科	85	93	8	1.091	1.082
耳鼻咽喉科	60	66	6	1.101	1.079
産婦人科(3科)	415	530	115	1.276	1.229
リハビリテーション科	17	23	6	1.339	1.544
放射線科	26	42	16	1.618	1.280
麻酔科	46	64	18	1.386	1.351
病理診断科	11	17	6	1.554	1.421
臨床検査科	0.2	0.6	0.4	2.961	1.335
救急科	0.8	2.1	1.3	2.607	1.769
美容外科(参考)	0.2	0.5	0.3	2.073	2.240
臨床研修医	94	147	53	1.559	1.277

※内科(12科):内科,呼吸器内科,循環器内科,腫瘍内科(代謝内科),血液内科,アレルギー科,リウマチ科,感染症内科,心臓内科
 ※外科(8科):外科,呼吸器外科,心臓血管外科,乳腺外科,消化器外科(胃腸外科),肛門外科,小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科,産科,婦人科

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support



All rights reserved.

表2-15 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/静岡市/2008・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2008年	
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2008年	
内科(12科)	493	620	127	1.258	1.169	
皮膚科	37	49	12	1.324	1.274	
小児科	153	104	▲49	0.680	0.946	
精神科	62	81	19	1.306	1.199	
外科(8科)	155	162	7	1.045	1.010	
泌尿器科	34	36	2	1.059	1.106	
脳神経外科	29	36	7	1.241	1.061	
整形外科	97	115	18	1.186	1.185	
形成外科	12	18	6	1.500	1.667	
眼科	56	66	10	1.179	1.094	
耳鼻咽喉科	56	58	2	1.036	1.039	
産婦人科(3科)	64	81	17	1.266	1.111	
リハビリテーション科	11	16	5	1.455	1.400	
放射線科	14	24	10	1.714	1.530	
麻酔科	35	51	16	1.457	1.418	
病理診断科	9	15	6	1.667	1.465	
臨床検査科	3	5	2	1.667	2.000	
救急科	8	17	9	2.125	2.800	
美容外科(参考)	6	7	1	1.167	1.800	
臨床研修医	81	139	58	1.716	1.613	

※内科(12科)：内科、呼吸器内科、泌尿器内科(腎臓内科)、腎臓内科、循環器内科(代内内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※外科(8科)：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管支外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科)：産婦人科、産科、婦人科
 ※精神科では、小児科の医師数は出生年ごとの変動が大きいことに留意。
 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援センター
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

表2-16 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/静岡市/2008・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2008年	
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2008年	
内科(12科)	68.6	89.4	76.2	1.304	1.223	
皮膚科	5.1	7.1	6.3	1.373	1.332	
小児科	162.4	132.9	98.9	▲29.6	0.818	
精神科	8.6	11.7	9.6	3.1	1.254	
外科(8科)	21.6	23.4	20.4	1.083	1.056	
泌尿器科	4.7	5.2	5.7	0.5	1.086	
脳神経外科	4.0	5.2	5.8	1.2	1.287	
整形外科	13.5	16.6	16.1	3.1	1.229	
形成外科	1.7	2.6	2.3	0.9	1.743	
眼科	7.8	9.5	9.3	1.7	1.144	
耳鼻咽喉科	7.8	8.4	6.6	0.6	1.087	
産婦人科(3科)	42.8	63.3	53.0	20.5	1.479	
リハビリテーション科	1.5	2.3	2.3	0.8	1.508	
放射線科	1.9	3.5	4.2	1.5	1.777	
麻酔科	4.9	7.4	6.4	2.5	1.510	
病理診断科	1.3	2.2	1.7	0.9	1.728	
臨床検査科	0.4	0.7	0.6	0.3	1.728	
救急科	1.1	2.5	2.1	1.3	2.203	
美容外科(参考)	0.8	1.0	0.5	0.2	1.209	
臨床研修医	11.3	20.0	14.7	8.8	1.687	

※内科(12科)：内科、呼吸器内科、泌尿器内科(腎臓内科)、腎臓内科、循環器内科(代内内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※外科(8科)：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管支外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科)：産婦人科、産科、婦人科
 ※精神科では、小児科の医師数は出生年ごとの変動が大きいことに留意。
 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援センター
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

表2-17 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/静岡市/2010・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2010年	
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2010年	
内科(12科)	495	620	125	1.253	1.146	
皮膚科	38	49	11	1.289	1.232	
小児科	150	104	▲46	0.693	0.918	
精神科	64	81	17	1.266	1.129	
外科(8科)	159	162	3	1.019	0.988	
泌尿器科	33	36	3	1.091	1.118	
脳神経外科	36	36	0	1.000	1.056	
整形外科	95	115	20	1.211	1.150	
形成外科	15	18	3	1.200	1.393	
眼科	63	66	3	1.048	1.053	
耳鼻咽喉科	57	58	1	1.018	1.062	
産婦人科(3科)	66	81	15	1.227	1.122	
リハビリテーション科	17	16	▲1	0.941	1.282	
放射線科	16	24	8	1.500	1.561	
麻酔科	38	51	13	1.342	1.337	
病理診断科	11	15	4	1.364	1.500	
臨床検査科	1	5	4	5.000	2.857	
救急科	8	17	9	2.125	2.516	
美容外科(参考)	4	7	3	1.750	2.000	
臨床研修医	119	139	20	1.168	1.504	

※内科(12科)：内科、呼吸器内科、泌尿器内科(腎臓内科)、腎臓内科、循環器内科(代内内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※外科(8科)：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管支外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科)：産婦人科、産科、婦人科
 ※精神科では、小児科の医師数は出生年ごとの変動が大きいことに留意。
 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援センター
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

表2-18 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/静岡市/2010・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2010年	
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	2020年/2010年	
内科(12科)	69.1	89.4	76.2	20.3	1.294	1.187
皮膚科	5.3	7.1	6.3	1.8	1.322	1.277
小児科	163.6	132.9	98.9	▲30.8	0.812	1.070
精神科	8.9	11.7	9.6	2.7	1.307	1.170
外科(8科)	22.2	23.4	20.4	1.2	1.052	1.024
泌尿器科	4.6	5.2	5.7	0.6	1.127	1.159
脳神経外科	5.0	5.2	5.8	0.2	1.033	1.094
整形外科	13.3	16.6	16.1	3.3	1.250	1.191
形成外科	2.1	2.6	2.3	0.5	1.239	1.444
眼科	8.8	9.5	9.3	0.7	1.082	1.091
耳鼻咽喉科	8.0	8.4	6.6	0.4	1.051	1.101
産婦人科(3科)	45.2	63.3	53.0	18.1	1.401	1.276
リハビリテーション科	2.4	2.3	2.3	▲0.1	0.972	1.339
放射線科	2.2	3.5	4.2	1.2	1.549	1.618
麻酔科	5.3	7.4	6.4	2.0	1.386	1.386
病理診断科	1.5	2.2	1.7	0.6	1.408	1.554
臨床検査科	0.1	0.7	0.6	0.6	5.164	2.961
救急科	1.1	2.5	2.1	1.3	2.195	2.607
美容外科(参考)	0.6	1.0	0.5	0.5	1.806	2.073
臨床研修医	16.6	20.0	14.7	3.4	1.206	1.559

※内科(12科)：内科、呼吸器内科、泌尿器内科(腎臓内科)、腎臓内科、循環器内科(代内内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 ※外科(8科)：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管支外科、消化器外科(胃腸外科)、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科)：産婦人科、産科、婦人科
 ※精神科では、小児科の医師数は出生年ごとの変動が大きいことに留意。
 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師調査)」を基に作成
 地域医療支援センター
 Dept. of Regional Medical Care Support



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

All rights reserved.

表2-19 医療施設従事医師数の変化(実人数)/浜松市/2008・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)		
内科(12科)	621	747	126	1.203	1.169	
皮膚科	47	64	17	1.362	1.274	
小児科	109	125	16	1.147	0.946	
精神科	93	102	9	1.097	1.199	
外科(8科)	205	199	-6	0.971	1.010	
泌尿器科	45	65	20	1.444	1.106	
脳神経外科	43	45	2	1.047	1.061	
整形外科	119	156	37	1.311	1.185	
形成外科	14	31	17	2.214	1.667	
眼科	83	95	12	1.145	1.094	
耳鼻咽喉科	63	57	-6	0.905	1.039	
産婦人科(3科)	103	109	6	1.058	1.111	
リハビリテーション科	22	35	13	1.591	1.400	
放射線科	32	51	19	1.594	1.530	
麻酔科	65	80	15	1.231	1.418	
病理診断科	15	20	5	1.333	1.465	
臨床検査科	3	7	4	2.333	2.000	
救急科	17	31	14	1.824	2.600	
美容外科(参考)	2	5	3	2.500	1.800	
臨床研修医	117	143	26	1.222	1.613	

※内科(12科):内科、呼吸器内科、泌尿器内科、消化器内科(胃腸内科)、循環器内科(代位内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心臓内科
 ※外科(8科):外科、呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、循環器外科(循環外科)、整形外科、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科、産科、婦人科
 *欄外部分は全県の比(増減比)を下の欄に示す
 *欄外部分は全県の10万対数(人口10万対数)を下の欄に示す

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師統計)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine
 All rights reserved.

表2-20 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数)/浜松市/2008・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)		
内科(12科)	76.4	94.5	18.1	1.237	1.223	
皮膚科	5.8	8.1	2.3	1.400	1.332	
小児科	9.5	12.3	2.9	1.318	1.112	
精神科	11.4	12.9	1.5	1.128	1.254	
外科(8科)	25.2	25.2	0.0	0.989	1.056	
泌尿器科	5.5	8.2	2.7	1.485	1.157	
脳神経外科	5.3	5.7	0.4	1.076	1.110	
整形外科	14.6	19.7	5.1	1.348	1.239	
形成外科	1.7	3.9	2.2	2.277	1.743	
眼科	10.2	12.0	1.8	1.177	1.047	
耳鼻咽喉科	7.7	7.2	-0.5	0.930	1.087	
産婦人科(3科)	60.7	73.5	12.8	1.211	1.316	
リハビリテーション科	2.7	4.4	1.7	1.636	1.464	
放射線科	3.9	6.4	2.5	1.639	1.600	
麻酔科	8.0	10.1	2.1	1.266	1.483	
病理診断科	1.8	2.5	0.7	1.371	1.532	
臨床検査科	0.4	0.9	0.5	2.400	2.092	
救急科	2.1	3.9	1.8	1.875	2.719	
美容外科(参考)	0.2	0.6	0.5	2.571	1.883	
臨床研修医	14.4	18.1	3.7	1.257	1.687	

※内科(12科):内科、呼吸器内科、泌尿器内科、消化器内科(胃腸内科)、循環器内科(代位内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心臓内科
 ※外科(8科):外科、呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、循環器外科(循環外科)、整形外科、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科、産科、婦人科
 *欄外部分は全県の比(増減比)を下の欄に示す
 *欄外部分は全県の10万対数(人口10万対数)を下の欄に示す

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師統計)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine
 All rights reserved.

表2-21 医療施設従事医師数の変化(実人数)/浜松市/2010・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)		
内科(12科)	669	747	78	1.117	1.146	
皮膚科	52	64	12	1.231	1.232	
小児科	111	125	14	1.126	0.918	
精神科	95	102	7	1.074	1.129	
外科(8科)	196	199	3	1.015	0.988	
泌尿器科	44	65	21	1.477	1.118	
脳神経外科	38	45	7	1.184	1.056	
整形外科	123	156	33	1.268	1.150	
形成外科	20	31	11	1.550	1.393	
眼科	85	95	10	1.118	1.053	
耳鼻咽喉科	59	57	-2	0.966	1.062	
産婦人科(3科)	98	109	11	1.112	1.122	
リハビリテーション科	21	35	14	1.667	1.292	
放射線科	32	51	19	1.594	1.561	
麻酔科	65	80	15	1.231	1.337	
病理診断科	14	20	6	1.429	1.500	
臨床検査科	5	7	2	1.400	2.857	
救急科	17	31	14	1.824	2.516	
美容外科(参考)	3	5	2	1.667	1.500	
臨床研修医	103	143	40	1.388	1.604	

※内科(12科):内科、呼吸器内科、泌尿器内科、消化器内科(胃腸内科)、循環器内科(代位内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心臓内科
 ※外科(8科):外科、呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、循環器外科(循環外科)、整形外科、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科、産科、婦人科
 *欄外部分は全県の比(増減比)を下の欄に示す
 *欄外部分は全県の10万対数(人口10万対数)を下の欄に示す

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師統計)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine
 All rights reserved.

表2-22 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数)/浜松市/2010・2020年)

主たる診療科	医師数			増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)		
内科(12科)	83.5	94.5	11.0	1.131	1.187	
皮膚科	6.5	8.1	1.6	1.247	1.277	
小児科	9.9	12.3	2.4	1.244	1.070	
精神科	11.9	12.9	1.0	1.087	1.170	
外科(8科)	24.5	25.2	0.7	1.028	1.024	
泌尿器科	5.5	8.2	2.7	1.486	1.159	
脳神経外科	4.7	5.7	1.0	1.199	1.094	
整形外科	15.4	19.7	4.3	1.285	1.191	
形成外科	2.5	3.9	1.4	1.570	1.444	
眼科	10.6	12.0	1.4	1.132	1.091	
耳鼻咽喉科	7.4	7.2	-0.2	0.979	1.101	
産婦人科(3科)	60.1	73.5	13.4	1.222	1.276	
リハビリテーション科	2.6	4.4	1.8	1.688	1.339	
放射線科	4.0	6.4	2.4	1.614	1.618	
麻酔科	8.1	10.1	2.0	1.247	1.386	
病理診断科	1.7	2.5	0.8	1.447	1.554	
臨床検査科	0.6	0.9	0.3	1.418	2.961	
救急科	2.1	3.9	1.8	1.847	2.607	
美容外科(参考)	0.4	0.6	0.2	1.688	2.073	
臨床研修医	12.9	18.1	5.2	1.406	1.559	

※内科(12科):内科、呼吸器内科、泌尿器内科、消化器内科(胃腸内科)、循環器内科(代位内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心臓内科
 ※外科(8科):外科、呼吸器外科、泌尿器外科、消化器外科(胃腸外科)、循環器外科(循環外科)、整形外科、肛門外科、小児外科
 ※産婦人科(3科):産婦人科、産科、婦人科
 *欄外部分は全県の比(増減比)を下の欄に示す
 *欄外部分は全県の10万対数(人口10万対数)を下の欄に示す

厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計(旧:医師・歯科医師・薬剤師統計)」を基に作成
 地域医療支援学講座
 Dept. of Regional Medical Care Support
 浜松医科大学
 Hamamatsu University School of Medicine
 All rights reserved.

表2-23 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/指定都市以外の市町/2008・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	1,253	1,400	147	1.117	1.169
皮膚科	95	115	20	1.211	1.274
小児科	197	205	8	1.041	0.946
精神科	136	166	30	1.221	1.199
外科(8科)	374	380	6	1.016	1.010
泌尿器科	109	107	▲2	0.982	1.106
脳神経外科	125	128	3	1.024	1.061
整形外科	277	313	36	1.130	1.185
形成外科	25	36	11	1.440	1.667
眼科	169	176	7	1.041	1.094
耳鼻咽喉科	111	124	13	1.117	1.039
産婦人科(3科)	148	160	12	1.081	1.111
リハビリテーション科	27	33	6	1.222	1.400
放射線科	54	78	24	1.444	1.530
麻酔科	65	103	38	1.585	1.418
病理診断科	19	28	9	1.474	1.465
臨床検査科	4	8	4	2.000	2.000
救急科	5	30	25	6.000	2.600
美容外科(参考)	2	6	4	3.000	1.800
臨床研修医	133	252	119	1.895	1.613

※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(内臓内科)、腎臓内科、脳神経内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、循環器外科、消化器外科(内臓外科)、整形外科、小児科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 ※ 放射線科: 放射線科、放射線診断科、放射線治療科
 ※ 麻酔科: 麻酔科、麻酔科補助科、麻酔科補助科補助科
 ※ 病理診断科: 病理診断科、病理診断科補助科、病理診断科補助科補助科
 ※ 臨床検査科: 臨床検査科、臨床検査科補助科、臨床検査科補助科補助科
 ※ 救急科: 救急科、救急科補助科、救急科補助科補助科
 ※ 美容外科(参考): 美容外科、美容外科補助科、美容外科補助科補助科
 ※ 臨床研修医: 臨床研修医、臨床研修医補助科、臨床研修医補助科補助科

表2-24 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/指定都市以外の市町/2008・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全県 2020年/2008年
	2008年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	55.3	65.1	76.2	9.9	1.178
皮膚科	4.2	5.4	6.3	1.2	1.277
小児科	61.9	79.2	98.9	17.2	1.278
精神科	6.0	7.7	9.6	1.7	1.287
外科(8科)	16.5	17.7	20.4	1.2	1.071
泌尿器科	4.8	5.0	5.7	0.2	1.035
脳神経外科	5.5	6.0	5.8	0.4	1.080
整形外科	12.2	14.6	16.1	2.3	1.192
形成外科	1.1	1.7	2.3	0.6	1.519
眼科	7.5	8.2	9.3	0.7	1.098
耳鼻咽喉科	4.9	5.8	6.6	0.9	1.178
産婦人科(3科)	32.5	41.6	53.0	9.1	1.280
リハビリテーション科	2.4	1.5	2.3	0.3	1.289
放射線科	1.2	3.6	4.2	1.2	1.523
麻酔科	2.9	4.8	6.4	1.9	1.671
病理診断科	0.8	1.3	1.7	0.5	1.554
臨床検査科	0.2	0.4	0.6	0.2	2.099
救急科	0.2	1.4	2.1	1.2	6.327
美容外科(参考)	0.1	0.3	0.5	0.2	3.164
臨床研修医	5.9	11.7	14.7	5.9	1.998

※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(内臓内科)、腎臓内科、脳神経内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、循環器外科、消化器外科(内臓外科)、整形外科、小児科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 ※ 放射線科: 放射線科、放射線診断科、放射線治療科
 ※ 麻酔科: 麻酔科、麻酔科補助科、麻酔科補助科補助科
 ※ 病理診断科: 病理診断科、病理診断科補助科、病理診断科補助科補助科
 ※ 臨床検査科: 臨床検査科、臨床検査科補助科、臨床検査科補助科補助科
 ※ 救急科: 救急科、救急科補助科、救急科補助科補助科
 ※ 美容外科(参考): 美容外科、美容外科補助科、美容外科補助科補助科
 ※ 臨床研修医: 臨床研修医、臨床研修医補助科、臨床研修医補助科補助科

表2-25 医療施設従事医師数の変化(実人数/主たる診療科別/指定都市以外の市町/2010・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	1,251	1,400	149	1.119	1.146
皮膚科	95	115	20	1.211	1.232
小児科	212	205	▲7	0.967	0.918
精神科	150	166	16	1.107	1.129
外科(8科)	395	380	▲15	0.962	0.988
泌尿器科	109	107	▲2	0.982	1.118
脳神経外科	124	128	4	1.032	1.056
整形外科	290	313	23	1.079	1.150
形成外科	26	36	10	1.385	1.393
眼科	172	176	4	1.023	1.053
耳鼻咽喉科	109	124	15	1.138	1.082
産婦人科(3科)	148	160	12	1.122	1.122
リハビリテーション科	27	33	6	1.222	1.292
放射線科	50	78	28	1.560	1.561
麻酔科	72	103	31	1.431	1.387
病理診断科	17	28	11	1.647	1.500
臨床検査科	1	8	7	8.000	2.857
救急科	6	30	24	5.000	2.516
美容外科(参考)	2	6	4	3.000	2.000
臨床研修医	133	252	119	1.895	1.504

※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(内臓内科)、腎臓内科、脳神経内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、循環器外科、消化器外科(内臓外科)、整形外科、小児科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 ※ 放射線科: 放射線科、放射線診断科、放射線治療科
 ※ 麻酔科: 麻酔科、麻酔科補助科、麻酔科補助科補助科
 ※ 病理診断科: 病理診断科、病理診断科補助科、病理診断科補助科補助科
 ※ 臨床検査科: 臨床検査科、臨床検査科補助科、臨床検査科補助科補助科
 ※ 救急科: 救急科、救急科補助科、救急科補助科補助科
 ※ 美容外科(参考): 美容外科、美容外科補助科、美容外科補助科補助科
 ※ 臨床研修医: 臨床研修医、臨床研修医補助科、臨床研修医補助科補助科

表2-26 医療施設従事医師数の変化(人口10万対数/主たる診療科別/指定都市以外の市町/2010・2020年)

主たる診療科	医師数		増減		【参考】全県 2020年/2010年
	2010年(A)	2020年(B)	差(B-A)	比(B/A)	
内科(12科)	55.7	65.1	76.2	9.5	1.171
皮膚科	4.2	5.4	6.3	1.1	1.266
小児科	68.9	79.2	98.9	10.3	1.149
精神科	6.7	7.7	9.6	1.1	1.158
外科(8科)	17.6	17.7	20.4	0.1	1.024
泌尿器科	4.8	5.0	5.7	0.1	1.027
脳神経外科	5.5	6.0	5.8	0.4	1.080
整形外科	12.9	14.6	16.1	1.7	1.129
形成外科	1.2	1.7	2.3	0.5	1.448
眼科	7.7	8.2	9.3	0.5	1.070
耳鼻咽喉科	4.8	5.8	6.6	0.9	1.190
産婦人科(3科)	33.5	41.6	53.0	8.2	1.244
リハビリテーション科	2.2	1.5	2.3	0.3	1.278
放射線科	2.2	3.6	4.2	1.4	1.632
麻酔科	3.2	4.8	6.4	1.6	1.496
病理診断科	0.8	1.3	1.7	0.5	1.723
臨床検査科	0.0	0.4	0.6	0.3	8.388
救急科	0.3	1.4	2.1	1.1	5.230
美容外科(参考)	0.1	0.3	0.5	0.2	3.138
臨床研修医	5.9	11.7	14.7	5.8	1.982

※ 内科(12科): 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(内臓内科)、腎臓内科、脳神経内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、感染症内科、心療内科
 ※ 外科(8科): 外科、呼吸器外科、循環器外科、消化器外科(内臓外科)、整形外科、小児科、小児外科
 ※ 産婦人科(3科): 産婦人科、産科、婦人科
 ※ 放射線科: 放射線科、放射線診断科、放射線治療科
 ※ 麻酔科: 麻酔科、麻酔科補助科、麻酔科補助科補助科
 ※ 病理診断科: 病理診断科、病理診断科補助科、病理診断科補助科補助科
 ※ 臨床検査科: 臨床検査科、臨床検査科補助科、臨床検査科補助科補助科
 ※ 救急科: 救急科、救急科補助科、救急科補助科補助科
 ※ 美容外科(参考): 美容外科、美容外科補助科、美容外科補助科補助科
 ※ 臨床研修医: 臨床研修医、臨床研修医補助科、臨床研修医補助科補助科